



最硬王者
ゴレダンガ

第001話「強襲のジェットブル」

原作・漫画
ヒラチ フミタカ

メインメカニック原案
猫 牟

ドクター東！

あすみ

ドクター
ロ、東はどこだ！！

ジュンジュン！

ド
ッ

ド
ッ

私はここにいますぞ
ジェットブルよ



落ち着け、
今しばらく待つのだ

そこにおったか！

我々は、いつまでこんな
暗い所に籠こもっていない
ければならない！

ド、東！

カ
ッ
ッ
ッ



我々は世界征服の為に
「ム」にしているのではな
いのか!?

——その通りだ、
ジェットブルよ…

だが、ゴルダンガー
は強い!

あの時、奪取しそこなった
のは私の失態だった…

奴に勝利するため
に作戦と戦力を整
えねばならん…

ム
ム
ム



モウ！
作戦など不要！

ドクターアズマよ！
このジェットブルに

出撃の許可を
下されい！

ククツ…

よからう、先発部隊は
お前に任せよう
好きに暴れてくるがい
い！





まかせて
くだされ!

必ずや、
ゴルダンガーを
打ち倒してやるうぞ!



メルエスカ——

それは
どういう意味だ…?

よろしいのですか?



あの「脳みそ
肩ロース」の
ような輩に、
大切な先陣を
任せてよかった
のかしら…

開戦は
派手に！

その為に、
彼がウズキ出すのを
私は待っていた！

ジェットブルの
突撃で、この戦いは
始まりのゴングを鳴
らすのだ！！

己の力のみを信じ、
誰より先に敵陣に
飛び込む！

ジェットブルは、
誰よりそれにふさ
わしい！

負けることが
最初から分かっ
ているとしても……
ですか？

くるっ

その通り、
彼に勝利など
私は望んでいない
………！

ズ

ゴルダンガーとの
相性を考えれば、
勝つことなど
不可能なのだからな……

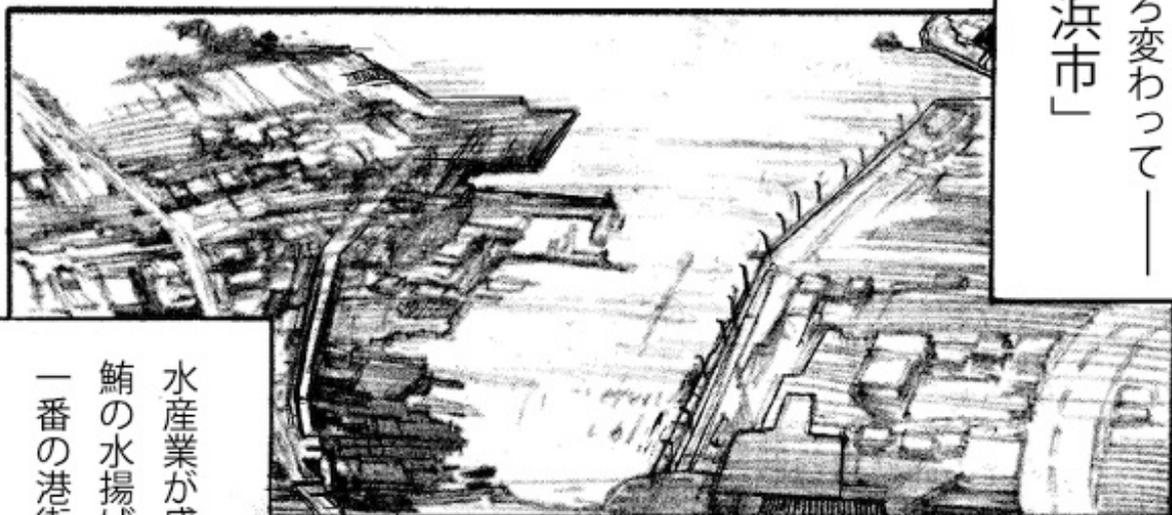
ふん……

まったく、
ひどい人だわ
まあその方が――

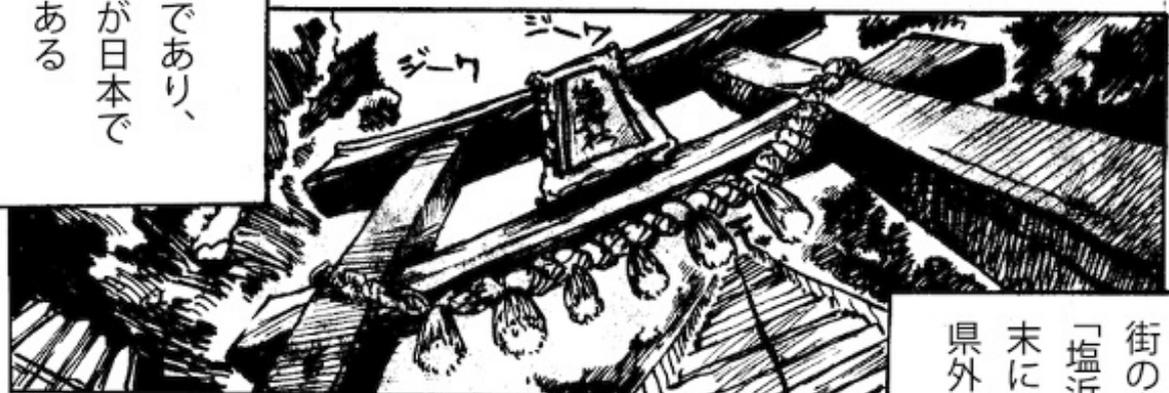
世界征服を目指
す者としてふさ
わしいわ……

………

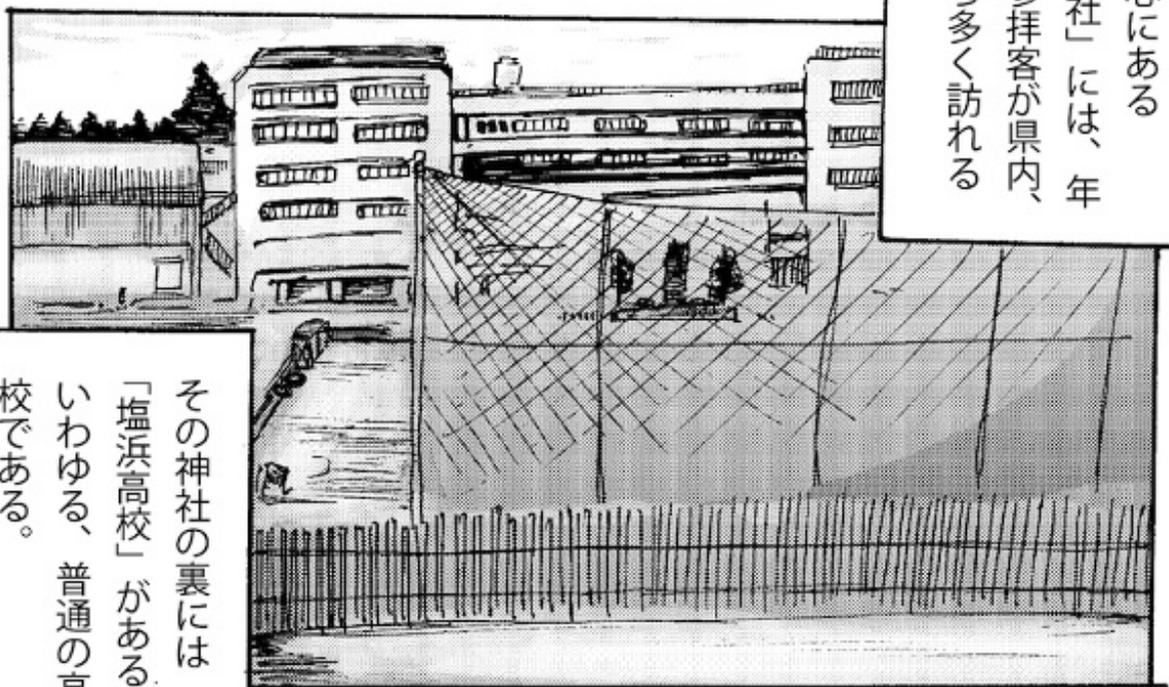
ところ変わって——
「塩浜市」



水産業が盛んであり、
鮪の水揚げ量が日本で
一番の港街である



街の中心にある
「塩浜神社」には、年
末には参拝客が県内、
県外から多く訪れる



その神社の裏には
「塩浜高校」がある。
いわゆる、普通の高
校である。

で、その近所にある
和菓子屋さんか
盾矛博士の行き付け
の店だ。

おばちゃん！
ずんだ餅を追加じゃー

やっぱりここに
いましたか！
盾矛博士！

むうー？

迎えに来ましたよ

ザッ





ドクターアズマの
手を煩わせる必要
も無い!

アハハハハハ

盾矛博士、その命を
頂戴する……!

この
ジェットブル
が!!





ギロアニヤ

貴様を始末すれ
ばゴルダンガー
の驚異は、ほぼ
皆無に等しい！

思ってたよ
り、早過ぎ
るわい…！



に、に、逃げる
んじゃあああ！
平和くん！

ダッ

博士！
急いで研究所へ！



逃げられる
かな…

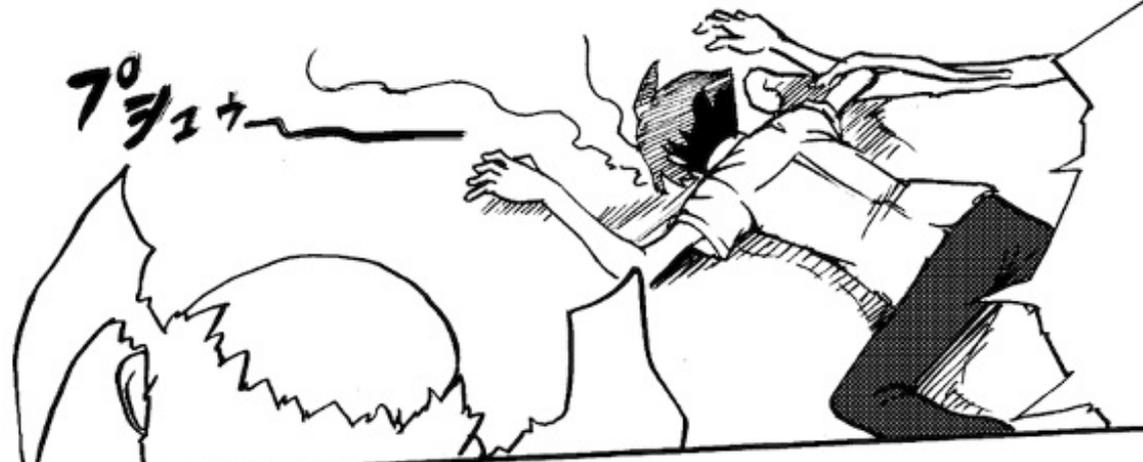
我が
突進から…





!!!?

ゴカガガガカ !?



だつ、
大丈夫か！
少年よ！



怪我は無いですか？
おじいさん！

僕は大丈夫
です！

無傷
いー
!?つ



我が突進を食らって、
無事どころか、
無傷な人間だとお…？

いったい…
何者だ……！



それより、早く逃げま
しょう！おじいさん！

おお！
そうじゃった



あたしが相手して
やんよ、牛野郎！

ぼ、僕のカーボン
竹刀ががががつ！

さあ！
今のうちに！

任せたぞい！
マツリ！



ビュッ
ブッ
ブッ
ブッ
ブッ

いつたい
なんだというのだ
コヤツら……
何者なんだ……！



最硬王者
ゴルダンガ

ゴ
ル
ダン
ガ



 ジェット
ブール

- 特長: ウシ
- 特技: 突進
- 東博士によって作られた合成人間。
- 海底にある東研究所で鍛錬を続けていたが_た_れ ストレスを溜めすぎて爆発
- 背中のジェットエンジンで加速して突進するのが好き。
- 好きな言葉
「猪突モウ進」
「ウシなう物は何もない」
「モウ、何も恐くない」



最硬王者ゴルダンガー 第001話

<http://p.booklog.jp/book/26086>

最硬王者ゴルダンガー 第000話

<http://p.booklog.jp/book/22013>

著者 : fumitica

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/fumitica/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26086>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26086>